

TAKAMIYA VILLAGE HOTEL JURIN



DATA.
 タカミヤヴィレッジ
 ホテル樹林
 【山形市】
 住 / 山形市蔵王温泉
 上ノ台914
 電 / 023-694-9511
 URL / zao.co.jp/jurin/



▶▶ 入り口は2箇所、着脱可能なスロープがあります。自力での上り下りが難しい場合はスタッフの介助もお願いできます。部屋はペイントのある洋室や和室等、様々なタイプを用意。



▲蔵王温泉の良質な源泉が流れしにこり湯。蔵王温泉特有の強酸性の源泉と、強酸性が苦手な方でも弱アルカリ性へルストン人工温泉と二つのお湯を愉めます。浴場までは階段及び段差があるため、入浴の際は施設とご相談ください。

高原からの眺めが最高!



BARRIER FREE GUIDE MAP REPORT

IN TAKAMIYA VILLAGE HOTEL JURIN

高原の四季を感じる宿 ホテル樹林へ行ってみたい!

蔵王高原にある美しい山景が一望出来るホテル樹林。山形市バリアフリーガイドマップに載っているこの宿に、車椅子ユーザーで編集部員の海藤が実際に行って体験してきました!

温
 泉街のすぐ上部に位置し、蔵王温泉スキー場発祥の地となった上の台ゲレンデ、ホテル樹林の目の前に、このゲレンデがあります。広く、緩やかな斜面は初

実際にしてきました!
 ライター紹介
 ZERO☆23 編集部 海藤
 車椅子のデザイナー、時々ライター。

級者やスキーレッスン、ファミリー層に適しており、1979年にはアジア初のインタースキー(国際スキー教育会議)が開催され、障がい者スキーのデモンストラションが行われました。ちなみにも僕も一度だけチェアスキーを体験したことがあります。森に抱かれた佇まい、高原から眺める大自然の絶景。空気はとても澄んでいて、夜は満天の星空。春夏秋冬、くつろげる宿です。



季節に合わせた旬の料理がおいしい!



▲広々としたレストランで山形蔵王の味覚を散りばめた和洋折衷膳を。蔵王高原牧場で育てられた希少な蔵王牛も使用。ランチ2,750円(要予約、ご予約時にゼロ・ニ・サンを見たとお伝えください)



DATA. 蔵王温泉 名湯舎 創
 住 / 山形市蔵王温泉48
 電 / 023-666-6531
 URL / meitoya.com/

※ご利用は施設へご確認。ご相談の上おかけ下さい。

山形市福祉のまちづくり活動委員会の取組み

山形市バリアフリーガイドマップをご存知ですか?

高齢の家族や車椅子で食事や遊びに行こうとした時、そこに段差があったら心配。車椅子で使えるトイレは? そんな時、バリアフリーガイドマップを活用してみませんか?

12月3日から
 12月9日までは
 国が定めた
 障がい者週間です



山形市バリアフリーガイドマップの提供

1 山形市福祉のまちづくり活動委員会は提供いただいた情報を元にバリアフリーガイドマップを作成しています。身体に障がいを持つ方や高齢者が暮らしやすいまちづくりを目指しています。

ACCESS



紹介している施設(施設No.28 施設名:山形駅)



バリアフリー情報	所在地
<ul style="list-style-type: none"> 障害者優先駐車場 1 台 一般駐車場 入口段差なし 番号ブロック インフォメーション 点字表示あり 車いすトイレ 音声案内あり 非常用呼び出しボタンあり ユニバーサルシートあり オストメイト型 汚物処理シャワー型 エレベーター 点字表示あり 音声案内あり 	990-0039 山形市登善町1-1-1 TEL 023-631-2131 FAX 023-631-0904 ホームページ 山形駅 アンケート調査日 2019年1月

▲山形市の施設を検索してバリアフリー情報を確認できます。このマップはご提供情報により定期的に更新しています。

地図から探す



302施設対応状況から探す



目的別から探す



▲「施設状況からさがす」では一般駐車場、優先駐車場、入口段差あり、入口段差なし、スロープ(段差解消)、車いすトイレ、エレベーター、オストメイト対応トイレ、インフォメーション、点字ブロックなどの有無が確認できます。

※調査の時期や施設利用時の状況により差異が生じる場合がございます。

外見では分かりにくい障がいへの対応例

ユニバーサルトイレとオストメイト(人工肛門・膀胱保有用者)対応トイレの必要性



ユニバーサルシート(収納型簡易便座)は多目的トイレへの設置が進んでおり、着替えやオムツ替え介助時に使えます。



オストメイトは見た目では分からない障がいです。対応トイレがあれば長時間の外出が可能になり、その設置が強く要望されています。

VOICE 委員の声

歳をとっても安心して暮らせる街にするため、障がいを持つ方こそ街へ出かけて欲しい

車椅子利用者となった親戚と、ユニバーサルデザインの勉強会に出かけました。宿泊予約を出かけてきたのに、ホテルには車椅子で使えるトイレがありません。トイレに行けない、眠ることもできない。「こんなおかし。なんとかさんね」。平成10(1998)年頃のことです。それがこの団体を立ち上げたときの想いでした。私たちが安心して出かけられる街にするためにも、車椅子の方、障がいのある方こそどんどん外出して欲しい。街が変わることで、私たちみんなが幸せになることができます

初代委員長 鈴木幸子(80歳)

山形市福祉のまちづくり活動委員会はあなたの参加をお待ちしています!

平成15(2003)年から市民の自主的な参加により「げんきであつた山形づくり」を目指し活動中。委員会の構成は、主に身体に障がいを持つ市民や高齢者を含めた一般市民です。私たちといっしょにバリアをとりぬく方法を考えましょう。

NEWS
 活動の展示会
 令和3年1月25~29日
 @山形市役所玄関内
 のエントランスホール